

# 出向く 営農レポート

長久手地域  
珍しい野菜で産直をにぎやかに



長久手地域担当  
佐川ありす

産直会員になって2年目の山下正男さんと中島守さんの圃場に出向きました。二人で10アールの圃場を区画分けし、助け合いながら栽培しています。

## 山下 正男さんの圃場



山下さんはコールラビやビーツなど珍しい野菜を育てており、11月に出荷が始まります。



コールラビ



ビーツ

今年は昨年から北部営農センターで推進しているトレビスの栽培を提案しました。葉色は緑ですが、ここから結球し紫色になり、11月中旬に出荷が始まります。生育は順調でしたが、訪問した9月末は虫が多かったため、結球前に虫が入らないようBT剤による防除を提案しました。



トレビス

### コールラビ

食感は大根で風味はキャベツに少し似ており、ほんのりと甘く生でも加熱しても食べられます。

### ビーツ

ほうれん草の仲間でも色鮮やかな赤紫色をしています。飲む血液とも呼ばれるほど栄養価が高いです。

### トレビス

見た目は紫キャベツによく似ていますが、味はキャベツの香りは無く苦味があり、葉はとても柔らかいです。

## 中島 守さんの圃場



中島さんはアレッタを栽培しており11月下旬に出荷予定です。虫が多いと相談を受け「出来るだけ農薬は使用せず、見つけては手で駆除している」とのこと。葉裏を確認するとヨトウムシの幼虫がいたため、BT剤による防除を提案しました。



ヨトウムシの幼虫  
黒い斑点が目印になります

### 野菜類の害虫防除について

ゼンターリ顆粒水溶剤 (BT剤※) : 1000~2000倍  
収穫前日まで使用可能

BT剤とは?

天敵微生物を利用した生物農薬の1種であり、多くは自然由来の微生物を利用し、有機栽培にも使用される安全性の高い農薬です。お勧めしたゼンターリ顆粒水溶剤はBT剤の中でもコナガやヨトウムシによく効きます。

### 職員の一言

11月10日に「ながくて市民まつり 農業展農畜産物共進会」を開催します。山下さんや中島さんをはじめ、産直農家さんが育てた自慢の野菜が勢ぞろいしますので、ぜひ遊びに来てください!